

令和8年度 近畿大学大学院 商学研究科 博士前期課程

社会人入学試験問題〔専門科目〕小論文

■出題文

人口減少社会において、観光産業は地域経済の維持・発展にどのような役割を果たし得るか。課題と可能性の両面から論じなさい。

出題意図

本問題の出題意図は、人口減少社会というマクロな社会構造の変化を踏まえた上で、観光産業の経済的・社会的機能を多角的に分析する力を測る点にある。受験者が、観光を単なる交流活動としてではなく、外貨獲得や雇用創出、関係人口の拡大といった地域経済への波及効果を持つ産業として捉えられているかを確認する。同時に、季節変動、労働力不足、オーバーツーリズムなどの課題を整理し、可能性と限界をバランスよく論理的に論述できるかを評価することを目的としている。

解答のポイント

① 交流人口・関係人口の創出による地域経済の補完

人口減少により地域の消費市場は縮小するが、観光は域外から人を呼び込み、宿泊・飲食・交通・土産物などへの支出を通じて地域経済を補完できる。定住人口の減少を「交流人口」で補う役割を持つ。

② 雇用創出と地域産業の活性化

観光は裾野が広く、農業・漁業・伝統工芸など他産業との連携（観光の産業化・産業の観光化）を促進する。若者や女性、高齢者も働きやすい雇用機会を生み、地域に残す可能性がある。

③ 課題：人手不足・担い手不足と持続可能性の問題

人口減少下では観光業自体も労働力不足に直面する。また、オーバーツーリズムや地域資源の過剰利用が起これば、住民生活との摩擦や環境負荷が生じ、持続可能性が損なわれる恐れがある。

④ 今後の可能性：高付加価値化・地域ブランディング

量より質を重視し、滞在型観光や体験型観光、インバウンド市場などを通じて一人当たり消費額を高める戦略が重要。地域固有の文化・自然・歴史を活かしたブランド化により、小規模でも持続的な発展が可能となる。